

宇工高同窓会々報

会員の皆様へ

同窓会長

岡田 義治



同窓会々員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

同窓会は、旧宇工高跡地に記念碑「発祥の地」を建設することで設計を進めて来ましたが、このほど完成し、平成28(2016)年2月20日(土)に関係者をお招きして除幕式を行いたいと思います。既に平成25年5月10日より記念碑の計画(案)をはじめ、平成26(27)年度の同窓会総会では多様なご意見を頂き、役員会で慎重に検討してきました。折しも、東日本大震災のあと、オリンピック、パラリンピックを招致し、建設物価の高騰などが止まらない不安定な経済状況のもと、無理に工事を担当された建設会社の

方々には深く感謝を申し上げます。

改めて「発祥の地」(間口10m、奥行5m)に関わる事項について記したいと思います。基本的には校舎の正門にあったロータリーをイメージし、岩状の石を置いて、新たに御影石を使用し、本校出身の栃木県知事・福田富一氏の揮毫による「発祥の地」を掲げ、左側の石版には校歌、裏面には楽譜を刻み、右側は荀子の言葉「道は近しと雖も行かざれば至らず・・・」も行かざれば至らず・・・本校が昭和33年火災にあい、昭和43年に校舎増改築落成記念に建立したもので、第40(43)代目の栃木県知事・横川信夫氏の揮毫を配置して、三方を鉄筋コンクリートの壁で区画してあります。床はコンクリートスラブの上に、白玉石を敷いてあり、清楚な仕上げです。

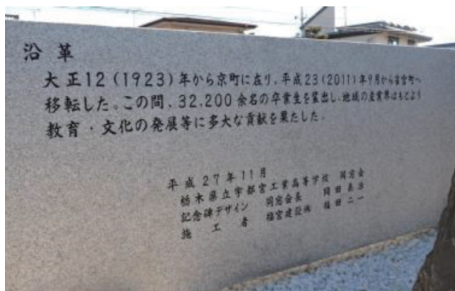
また、旧校門に掲げてあった校名「栃木県立宇都宮工業高等学校」は全て遺し、正門、北門、西門にあったものはコンクリートの壁に埋込んであります。その他、設計図や工事写真等、記念になる様な全てを「定礎」箱に格納します。今後とも将来にわたり、これからの宇工の姿や形を繋い

でいくことが望まれます。

発行所

宇都宮市雀宮町52番地
電話 (028) 678-6500

宇都宮工業高校
同窓会事務局



記念碑「発祥の地」背面



記念碑「発祥の地」正面

活躍する宇工生

校長

池 守 滋



本校同窓会の皆様には、在校生に対しまして、多くのご支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。

本校の生徒は、将来、職場の中核的人材として、本県はもちろん我が国の工業界を支える人材となることが期待されております。このような中、文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」に全国の多くの工業高校の中から選定されました。「次世代を担うグローバルエンジニア」を育成することを目指して、全国の工業高校に先駆けて、様々な先端的な教育を実施して参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

夏の8月には、本校OBであります福田富一知事が来校され、在校生徒と懇談いたしました。生徒たちに在学中のエピソードや宇工に対する思いを熱く語られ、生徒たちは大いに感動いたしました。

今年も宇工生が多方面で全国的な活躍しました。運動部では、バスケットボール、水泳、空手・少林寺拳法の各々が厳しい県大会を勝ち抜い

て、夏の全国高校総合体育大会に見事出場いたしました。さらに、国体では、水泳で高橋航希君(機械1年)が第6位に入賞しました。文化部においても、写真部が全国高校総合文化祭に県代表として出展し、音楽部は東関東吹奏楽コンクールに出場しました。

また、本校の特色でもあるものづくりでも、生産システム研究部が今年も見事、日本代表としてWRO大会(カタール)に出場いたしました。関東高校生ものづくりコンテストには、木材加工・測量部門に県代表として出場しました。さらに、技能五輪全国大会に、初めて本県の高校生として、松山柊也君(環境設備3年)が出場いたしました。

定時制でも、夏の全国定時総合体育大会に、陸上競技、バドミントンが県代表として出場しました。

3年生の進路に関しまして、これまでの多くの先輩諸氏によるご尽力によりまして、就職希望者について、地元企業や県内の大企業を中心に10月末には大部分の生徒が内定をいただきました。さらに、公務員希望者も含め、今年も無事に就職内定率100%を達成しております。また、進学に関しましては、国公立大学6名、私立大学51名が合格し、専修学校等も東京や県内の各校から合格をいただきました。

今後とも、様々な分野で活躍でき、次の時代を支える人材の育成に学校全体として取り組んで参りますので、一層のご支援をお願いいたします。

関東大会・インターハイ・全国選抜優勝大会に出場して

バスケットボール部

顧問 千村 隆

本年度のバスケットボール部は、県高校総体、インターハイ県予選、選抜優勝大会県予選全て優勝することができました。一昨年、昨年と県大会無冠のため部員全員が優勝を目指して日々の練習に励みました。

関東大会では、新人関東大会第3位のため、上位進出を目指してのぞみました。2回戦で群馬代表前橋育英高校にあと一步のところで勝利することができませんでした。チームの課題も多く見つかり、インターハイ予選に向けて取り組むことになりました。

インターハイは京都で開催され、大阪代表近畿大学附属高校と一回戦を行いました。相手選手の身長が高い中で、選手一人一人が懸命にプレーしましたが、惜しくも勝利することができませんでした。

選抜優勝大会は東京体育館で開催され、沖縄代表小緑高校と一回戦を行いました。序盤硬さのとれないまま相手に連続得点を許してしまい苦しい展開となりました。その後はダニエルの活躍により徐々にペースを掴みましたが、点差はなかなか縮まらず、終盤連続得点で追

上げましたが勝利することができませんでした。

部員は上位大会で勝つことの難しさを学びました。また、下級生が上位大会経験できたことは、大きな財産となりました。



第53回技能五輪

全国大会に出場して

環境設備科

顧問 平 野 邦比己

平成27年12月4日～7日の日程で千葉県幕張メッセにて行われた第53回技能五輪全国大会に出場してきました。

技能五輪全国大会とは、青年技能者（原則23才以下）の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えることを目的としています。職種は全部で41職種実施されており、今回参加した、環境設備科3年松山柊也君は技能五



輪全国大会県予選の配管部門で好成績をあげ、県内初の高校生代表として選出されました。

全国大会の課題は複雑で、夏休み前から過去の全国大会の課題を研究し、製作に取り組んできました。製作していく度に多くの問題点が見つかり頭を悩ませることの連続でしたが、全国大会の前には制限時間で課題を完成させることができました。

大会当日に配布された課題図面は、例年よりも難しい内容でしたが、制限時間内に完成させることができ、練習の成果を出すことができました。成績は振るいませんでしたが、今回出場した事で、松山君本人の技術力向上や教職員の指導力向上につながりました。応援してくださいました、生

徒、先生、保護者ならびに関係の皆様本当にありがとうございました。

関東大会・インターハイ・国民体育大会に出場して

水泳部

顧問 平 野 邦比己

今年度の関東高等学校水泳競技大会は、7月24日から26日にかけて東京辰巳国際水泳場で行われました。本校は県大会で上位入賞を経て、男子競泳リレー種目と個人平泳ぎ種目に出場しました。

多くの観客が見守る大舞台の中で、栃木県チームの一員として堂々と泳ぎを見せてくれました。惜しくも入賞は逃してしまいましたが、チームとしての記録を伸ばし選手達の確実な成長を感じております。

また、個人では機械科1年の高橋航希君が競泳平泳ぎ種目での活躍を見せ、8月の京都アクアリーナで行われた全国大会への出場を果たしました。彼はさらに、9月に和歌山県で行われた国民体育大会にも出場し、同平泳ぎ種目においてベスト8に入賞するなど、次年度からの益々の活躍が期待されています。

部員達は水泳競技を通して、日々心身を鍛え個々の技量を伸ばすことに切磋琢磨しています。個人の競技の多い中、協力

して練習することの大切さをよく理解しています。日頃の活動を応援してください。さつている多くの先生方、保護者の皆様には本当に感謝申し上げます。



東関東吹奏楽コンクールに出場して

音楽部

顧問 鈴木 友美

平成27年9月12日（土）に千葉県文化会館にて行われた第21回東関東吹奏楽コンクール高等学校の部B部門に出場してきました。東関東大会は、栃木県、茨城県、千葉県、神奈川県、の4県の代表校が集まりました。B部門とは、30人までの編成で演奏する小編成の部門です。本年度は計35校の各県代表校が集いました。

本校音楽部にとって、東関東吹奏楽コンクールに出場するの



が13年ぶりとのこと。生徒達も大いに盛り上がり、県大会から東関東大会までの間、夏休みを返上して学校祭などの行事での演奏の練習をこなしながらのコンクール曲の猛練習をし、東関東大会に向けて気持ちを高めていきました。当日、他校の演奏を聴いて、他県のレベルの高さを痛感し、本番の演奏は緊張していたように感じました。しかし、指揮をしながら見た部員達の表情はとても真剣で素直に曲の楽しさをお客さんに伝えているように感じました。私自身も涙が出そうなくらい感銘を受けました。

この大会に出場したことにより多くの経験が得られたことは、今後の活動の原動力にもなっているといます。

平成27年度の陸上部の活動を振り返って

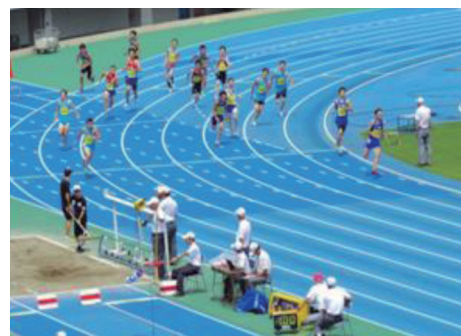
定時制課程

4年A組 ウリアス アラン

私は、初めての大会であり最後の県大会で、円盤投げに出場しました。とても緊張しながらも、全国大会を目指し頑張りました。しかし、残念ながら5位に終わってしまいました。

8月の全国大会には、中村君の付き添いとして駒沢陸上競技場に行くことになりました。自分が想像していたよりも、とても大きい競技場でビックリしました。多くの選手が、遠くから精一杯競技している姿は、とてもかっこよく見えました。

中村君が、栃木県チームの一員として出場した、4×100メートルリレーは、見事7位に入ることができました。応援していてもワクワクしました。中村君、4年間お疲れ様でした。こんな経験をさせて頂いたこと本当に感謝しています。



平成27年度 陸上競技部成績
○栃木県高等学校定時制通信制総合体育大会

男子100メートル 12秒01

第1位 中村勇太

男子走り幅跳び5メートル 63

第3位 中村勇太

男子円盤投げ17メートル 04

第5位 ウリアス アラン

男子砲丸投げ7メートル 44

池田 豊

○全国高等学校定時制通信制総合体育大会

男子走り幅跳び4メートル 88

予選敗退 中村勇太

男子4×100メートルリレー 46秒84

予選第8位

栃木 (中村 第4走者)

男子4×100メートルリレー

52秒05 第7位

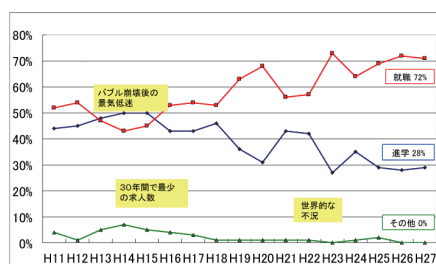
栃木 (中村 第4走者)

平成二十七年年度の進路

進路指導部長 穂本 亮一

一 はじめに

本校が科学技術高校になり3回目の卒業生となる平成27年度の3年生の進路状況は就職者と進学者の割合がそれぞれ72%と28%と、昨年度とほぼ同じになっています。また、景気回復等の影響もあり、昨年度に引き続き求人社数が増加しました。



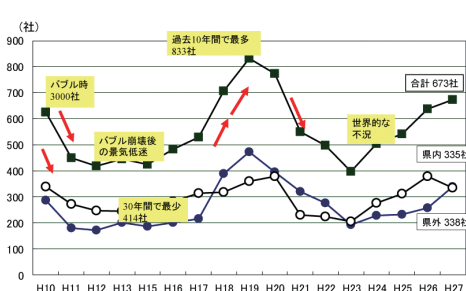
最近の進路状況の変化

二 就職

就職では、民間企業219名(県内就職136名、県外就職83名)、公務員6名の合計225名が内定しています。それぞれの「科・コース」で学んだ事や資格を活かせる仕事を希望する生徒が多く、科学技術高校としての特色を活かし

た就職先となっているのが特徴です。

今年度の求人社数は、673社(県内335社、県外338社)でした。昨年より県外が大幅に増え、全体でも36社程増加し、業種別に見ると建設業関連会社の求人が昨年同様増えています。



求人社数の推移

三 進学

進学に関しては、国公立大学6名、私立大学51名、高専・大学校・専門学校等30名の合計87名の進学が決定しています。国公立大学では、宇都宮大学・工学部4名、茨城大学工学部1名、長岡造形大学造形学部1名に合格者を出すことができました。いずれの大学においても工業高校で学んだ工業の専門性を活かした進学となっています。

平成26年度収支決算報告

(1) 一般会計

収入金	5,467,709円
支出金	4,346,317円
残 金	1,121,392円

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

■収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
繰 越 金	1,857,583	1,857,583	0	
永久会員費	3,680,000	3,610,000	△70,000	全日 3,200,000 (320名) 定時 410,000 (41名)
雑 収 入	0	126	126	一般会計利子
計	5,537,583	5,467,709	△69,874	

■ 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 議 費	600,000	532,076	△67,924	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	147,880	△52,120	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	200,000	85,000	△115,000	母校款送迎会等、寸志等
事 業 費	1,300,000	1,631,318	331,318	卒業記念品、同窓会報、奨励金、部活動補助、同窓会長賞、同窓会奨励賞等
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	200,000	73,402	△126,598	叙勲受章など
同窓会ＨＰ管理費	100,000	76,641	△23,359	ＨＰ更新料、サーバー費
予 備 費	1,137,583	0	△1,137,583	
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金へ返済
計	5,537,583	4,346,317	△1,191,266	

(2) その他

① 基金

(単位：円)

基金合計	9 7, 8 7 4, 4 8 5		
金融機関名	栃木銀行 22,615,667	足利銀行 55,258,818	日光杉並木基金 20,000,000

平成27年度予算(案)

(1) 一般会計

収入金	4,621,392円
支出金	4,621,392円
残 金	0円

自 平成27年 4 月 1 日
至 平成28年 3 月31日

■収入の部

(単位：円)

科 目	26年度予算額	27年度予算額	増 減	備 考
繰 越 金	1,857,583	1,121,392	△736,191	
永久会員費	3,680,000	3,500,000	△180,000	全日3,200,000 (320名) 定時 300,000 (30名)
雑 収 入	0	0	0	一般会計利子
計	5,537,583	4,621,392	△916,191	

■支出の部

科 目	26年度予算額	27年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	600,000	600,000	0	総会・理事会、資料印刷代
事務局運営費	200,000	200,000	0	名簿管理費、通信費、一般備品
渉 外 費	200,000	100,000	△100,000	母校献送迎会等、寸志等
事 業 費	1,300,000	1,500,000	200,000	卒業記念品、同窓会報、同窓会長賞、 奨励金、部活動全国大会等補助
教育活動後援費	300,000	300,000	0	教育活動後援費
慶弔・慶祝費	200,000	200,000	0	叙勲受章など
同窓会HP管理費	100,000	100,000	0	HP更新料、サーバー費
予 備 費	1,137,583	121,392	△1,016,191	
借入金返済	1,500,000	1,500,000	0	基金に返済
計	5,537,583	4,621,392	△916,191	

(2) その他

① 基金

(單位：円)

基金合計	99,374,485		
金融機関名	栃木銀行 22,615,667	足利銀行 56,758,818	日光杉並木基金 20,000,000

監 查 報 告

母校において、関係諸帳簿・領収書・通帳等と照合の結果、予算の執行・記帳・その他について、正確であり誤りのないことを証明します。

平成27年4月27日

會計監査

平成27年度役員

治男	文夫	男造	一久	薫明	一好	藏一	夫男	誠雄	宏滋	男男	長雄
義繁	忠秀	恭林	弘智	秀啓	一健	富和	成光	政辰	良勇	裕	
田田	口藤	井津	井梶	田林	井橋	成田	部瀬	藤塚	島守	尻田	平辺
岡嶋	湯齊	今梅	藤字	龜 和	小櫻	板吉	福阿	猪伊	飯中	池野	龜小
											渡渾
會長	會	"	"	"	"	"	"	"	"	"	與
副會	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	參
				監顧	"	"	"	"	"	"	"

同窓会事務局の動向

平成27年度定期総会は、平成27年6月6日（土）、ホテル丸治で開催しました。平成27年度決算報告及び平成27年度予算案を掲載しますのでご覧下さい。

議題である旧学校敷地への発祥の地記念碑建立について審議いただくと共に、新しい参与に蓮田裕一様が承認されました。また、監査の大根田倭之様の退任に伴い、櫻井啓一様が委嘱されました。

総会終了後、平成27年に栃木県文化功労者に選ばれた岡田義治同窓会長を祝い、祝賀会・懇親会を行いました。

同窓会長賞・奨励賞

4月には葭葉功教頭先生が、電子機械科に中川正登先生、環境設備科に岡田宗大先生、田代溪太郎先生が、定時制に小池仁先生、駒形幸也先生が赴任され、宇工出身の教職員は24名になりました。

同窓会長賞・奨励賞

同窓会長奨励賞として生産システム研究部に授与致しました。

